

西宮市 保健医療に関する実態調査【病院】

—調査の趣旨とご協力をお願い—

日ごろから西宮市の保健医療行政について、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

西宮市では、すべての市民が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちを目指し、10年後の本市の目指すべき医療のあり方を市民に提示する西宮市保健医療計画の策定を進めております。

このアンケート調査は、西宮市内における医療提供の現状や取組などのほか、市における医療課題などをお聞かせいただき、計画の策定に役立てることを目的として実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定される等、回答された方にご迷惑をおかけするようなことはございません。また、調査結果は上記目的以外に使用することはありません。

平成27年7月

西宮市長 今村 岳司

<調査票のご記入にあたってのお願い>

- ご回答は、えんぴつ、ボールペン等ではっきりとご記入ください。
- ご回答は、選択肢の中から取組内容や考え方に最も近い番号を選び、その番号に○をつけてください。ただし、設問によっては複数回答が可能な場合がありますので、ご注意ください。
- 「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にご記入ください。
- ご記入いただきました調査票は、7月17日(金)までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、お名前を書かずに、郵便ポストにご投函ください。
- ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ>

西宮市役所 健康福祉局福祉総括室 医療計画課

電話 : 0798-35-3292

FAX : 0798-34-5465

1 施設のことについて

問1 貴院の主要な標榜科目についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 内科 | 6. 小児科 | 11. 耳鼻咽喉科 |
| 2. 外科 | 7. 皮膚科 | 12. リハビリテーション科 |
| 3. 精神科 | 8. 泌尿器科 | 13. 放射線科 |
| 4. アレルギー科 | 9. 産婦人科 | 14. 歯科 |
| 5. リウマチ科 | 10. 眼科 | 15. その他() |

問2 貴院の病棟における医療機能についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 高度急性期機能 | 3. 回復期機能 |
| 2. 急性期機能 | 4. 慢性期機能 |

2 在宅医療について

問3 貴病院の退院療養計画書の導入状況についてお尋ねします。

- | | | |
|-----------------------|---|-------------------------|
| 1. 退院療養計画書を作成している | → | ①全患者を対象に計画書の作成を行っている。 |
| 2. 退院療養計画書は作成していない | | ②一部の患者について計画書の作成を行っている。 |
| 3. 退院療養計画書作成に向け準備中である | | ③その他() |

問4 貴病院の地域連携クリティカルパスの導入状況についてお尋ねします。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 実施している | ↓ |
| 2. 実施していない | |
| 3. 実施に向けて準備中 | |

※導入しているものすべてに○をつけてください

- | | |
|-------|-----------|
| ① 脳卒中 | ④ 急性心筋梗塞 |
| ② がん | ⑤ 大腿骨頸部骨折 |
| ③ 糖尿病 | ⑥ その他() |

問 9 在宅医療を推進するために、歯科診療所と連携できることはありますか。

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. ある | 2. ない |
| ↓ | |
| ※次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください | |
| ① 退院時カンファレンスでの連携 | ④ 患者情報の共有 |
| ② 地域連携パスの活用 | ⑤ その他 () |
| ③ 病状急変時の対応 | |

問 10 在宅医療を推進するために、薬局と連携できることはありますか。

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. ある | 2. ない |
| ↓ | |
| ※次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください | |
| ① 退院時カンファレンスでの連携 | ④ 患者情報の共有 |
| ② 地域連携パスの活用 | ⑤ その他 () |
| ③ 病状急変時の対応 | |

問 11 在宅医療を推進するために、訪問看護ステーションと連携できることはありますか。

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. ある | 2. ない |
| ↓ | |
| ※次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください | |
| ① 退院時カンファレンスでの連携 | ④ 患者情報の共有 |
| ② 地域連携パスの活用 | ⑤ その他 () |
| ③ 病状急変時の対応 | |

問 12 在宅医療を推進するために、介護支援専門員（ケアマネジャー）と連携できることはありますか。

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. ある | 2. ない |
| ↓ | |
| ※次の選択肢の中からあてはまるものすべてに○をつけてください | |
| ① 退院時カンファレンスでの連携 | ④ 患者情報の共有 |
| ② 地域連携パスの活用 | ⑤ その他 () |
| ③ 病状急変時の対応 | |

問13 今後、在宅医療を推進していくうえで、重要と考えることは何ですか。

(○は3つまで可)

1. 在宅医療機関間のネットワーク整備
2. 医療・介護・福祉によるネットワークの構築
3. 病状急変時の入院体制の充足
4. かかりつけ医の充足
5. 訪問歯科診療の充足
6. 訪問薬剤管理指導の充足
7. 訪問看護ステーションの充足
8. 在宅医療に関する人材の育成
9. 必要な機材・器具の整備
10. 市民への在宅医療の普及啓発
11. 介護家族への支援体制の確保
12. 特に重要と考えることはない
13. その他 ()

問14 他職種が定期的に、情報交換や事例検討をする場に参加していますか。

1. 参加している

2. 参加していない

※他職種の参加者について、次の選択肢の中から
あてはまるものすべてに○をつけてください

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 病院勤務医師 | ⑤ 看護師（病院・診療所勤務） |
| ② 医科診療所医師 | ⑥ 看護師（訪問看護ステーション勤務） |
| ③ 歯科医師 | ⑦ 介護支援専門員（ケアマネジャー） |
| ④ 薬剤師 | ⑧ その他 () |

※参加していない理由について選択肢の中から
あてはまるもの1つに○をつけてください

- | |
|----------------------------------|
| ① 会議の参加依頼がない |
| ② 会議に参加したいが、都合がつかない |
| ③ 他の参加者と連携体制がとれているため会議に参加する必要がない |
| ④ その他 () |

問 15 日常診療で、障害のある人の診療をすることはありますか。

| | | | |
|-----------------------------------------------------------------|--------------|--------|--------|
| 1. 診察する機会がある | 2. 診察する機会がない | | |
| <p>※診療の際に配慮していることについて、患者の障害種別ごとに、 あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> | | | |
| | 身体障害 | 知的障害 | 精神障害 |
| ① スタッフ等への研修の充実 | () | () | () |
| ② 患者の障害状況の把握 | () | () | () |
| ③ 十分な診療時間の確保 | () | () | () |
| ④ バリアフリー化等による施設面 ・設備面での患者の安全性の確保 | () | () | () |
| ⑤ その他 (具体的に：) | () | () | () |

問 16 問 15 で「1」を選択された方にお尋ねします。

円滑な診療のために工夫されていることがあれば記入してください。(自由記載)

3 救急医療について

問 17 西宮市における休日夜間の救急医療体制について、不安を感じる点がありますか。

(○は3つまで可)

1. 西宮市応急診療所等の初期救急医療体制の維持
2. 二次救急輪番病院体制の維持
3. 軽症患者の二次・三次救急医療機関受診による本来の救急医療提供能力の低下
4. 高齢化の進展に伴う救急搬送の増加
5. 安易な時間外診療による医療機関への過度の負担
6. 不安を感じることはない
7. その他 ()

4 精神科医療について

問 18 精神科医療をすすめるうえで、必要と感じていることは何ですか。(○は3つまで可)

1. 精神科救急医療システムの充実
2. G-Pネット（一般医と精神科専門医との連携）の構築
3. 精神科専門医療機関と保健所の保健師等の連携体制の充実
4. 精神科入院患者が退院して地域で生活できるようにする支援の充実
5. 身体疾患と精神疾患を合併した患者に対する医療の確保
6. 児童思春期の精神疾患に対する医療の確保
7. アルコールや薬物などの依存症に対する医療の確保
8. うつ病などの精神疾患に対する知識の普及啓発の充実
9. 睡眠薬や抗不安薬の適正処方知識の普及啓発
10. 一般医や市民が精神科医療に関して気軽に相談できる専門窓口の設置
11. その他 ()

問 19 認知症対策をしていくうえで、必要と感じていることは何ですか。(○は3つまで可)

1. 身体合併症や周辺症状がある患者に対する専門医療機関同士の連携
2. 認知症患者や家族をサポートするため情報共有ツール等での多職種との連携
3. 認知症予防に関する取組
4. かかりつけ医や介護従事者に対する研修
5. その他 ()

5 災害医療について

問20 災害に備えた医療対策として、優先すべきと思われることを選んでください。

(○は3つまで可)

1. 災害拠点病院の機能強化
2. 病院間の連携強化
3. 医療機関の受入れ体制の整備
4. 市民への医療情報の提供体制の整備
5. 緊急搬送体制の整備
6. 医薬品・医療用資機材の確保
7. 災害時要援護者の把握
8. 関係団体、住民を含めた定期的な訓練の継続
9. 市民を対象とした知識の普及（心肺蘇生法、応急手当等）
10. その他（)

問21 災害発生時の医療として、優先すべきと思われることを選んでください。

(○は3つまで可)

1. 医療機関の被災状況及び傷病者の受入可能状況の把握
2. 医療機関のライフライン（水、電気、燃料、通信）の確保
3. 医薬品・医療用資機材の搬送体制の確保
4. 市民への医療提供体制の情報提供
5. 医療機関の患者の優先順位の判断（トリアージ）
6. 被災患者への精神面に関するケア
7. 災害時要援護者へのケア
8. 避難施設等に対する医療提供の確保
9. 避難施設等における衛生・感染症対策（口腔ケア含む）
10. その他（)

